



自治体の抱える社会課題の発掘・分析・事業化に向けた ワークショップ

近畿経済産業局は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた取組を促進するため、自治体と企業の官民連携によるビジネスベースでの社会課題解決の促進を目的に、自治体職員の方々を対象に、ビジネス視点の伴った社会課題の「見える化」するプロセスを実際に体験するワークショップを下記のとおり開催します。

自治体課題の「見える化」から企業との共創に向けたマッチング支援事業を展開する企業・団体からコーディネーターをお招きして開催しますので、地域の抱える社会課題の設定に向けた具体的なプロセスへの理解を深めていただく機会として、ぜひご参加ください。

テーマ	少子化 ・ 子育て
開催日時	2021年 6 月 29 日(火) 14:00 ~ 16:00
コーディネーター	株式会社 WiseVine 代表取締役 吉本 翔生 氏 ほか
開催方法	オンライン開催
参加対象	・ SDGsや地域の抱える社会課題の解決にすでに取り組んでいる自治体の方 ・ SDGsや地域の抱える社会課題の解決にこれから取り組みたい自治体の方
参加条件	ワークショップ開催までに、準備シートへのご記入・事前提出をお願いします。
定員	10自治体(先着順) ※1自治体につき、2名までとさせていただきます。
参加費	無料

プログラムの詳細、コーディネーターの紹介は次のページへ

参加登録 お問合せ

ワークショップにご参加をご希望の方は、「①所属組織名 ②部署名 ③役職 ④氏名 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス」をご記入の上、以下のメールアドレスへご送信ください。

近畿経済産業局 通商部 国際課（田村、小谷）

Tel : 06-6966-6031

Mail : kin-kokusaiinfo@meti.go.jp

Sustainable Development Goals

プログラムとコーディネーターの紹介



第1回

2021年 6 月 29 日 (火) 14:00~

テーマ

少子化 ・ 子育て

コーディネーター

株式会社WiseVine 代表取締役 吉本 翔生 氏 他

プログラム

グループワーク1 : 「本当に解決したい課題とは何か」を深掘りする思考トレーニング

施策検討にあたって「本当に解決したい課題とは何か」を深掘りする思考トレーニングを、テクニックや講師・グループ参加者を交えたやり取り（壁打ち）から体験し、施策に応じたKGIやKPIを設定していくためのロジックモデルを構築します。

グループワーク2 : 企業への意見照会のための資料（RFI）の作成

グループワーク1により本当に解決したい課題を「見える化」できれば、少しの資料で企業と意見交換を行うことができます。グループワーク2では、そうした企業への意見照会に向けた資料の作成を体験いただけます。

自治体との取組紹介 : 『歳入ポテンシャルある施策』の把握について

持続可能な自治体の財政運営に向けて、現在、WiseVineと関西の政令市が連携して進めている「歳入ポテンシャルある施策を特定する取組」について、ご紹介いたします。

WiseVine の取り組み

- ・株式会社WiseVine（以下、「WV社」という。）は、自治体と企業のマッチングプラットフォーム事業を展開。自治体の抱える課題を「見える化」→課題案件化→予算化の検討→予算要求～事業化といった一連の流れに応じた支援を行い、企業の解決策とマッチングする機能を提供しています。
- ・また、自治体向けに無償で利用できるデータベースを提供しており、交付金や全国自治体の予算要求調書、他自治体のKPI・課題対応事例等のデータをみることができ、自治体規模に沿った課題対応をイメージできる環境を構築しており、EBPMの推進に役立てることができます。
- ・内閣府の「オープンイノベーションチャレンジ」事業に協力する他、Urban Innovation KOBE +Pの採択を受け、予算の策定や調達に関する準備等の業務効率化に向けた実証実験を行っています。

WiseVine社のHP ⇨ <https://corp.wise-vine.com/>